

R4年度商店街 NEXTチャレンジャー育成事業(3期生)

第4回 <吉塚商店連合組合>

日 時：令和4年10月13日(木)
16:30~19:00

会 場：アジアンプラザ

参加者19名

- 商店街関係者（9名）
- 吉塚商店連合組合、商店街関係者（4名）
- 見学者（1名）
- 福岡大学 杉本先生、飛田先生
- コーディネーター等（3名）

<Program>

1. 開会
2. 吉塚商店街歩き
3. 吉塚商店街から学ぶ！【吉塚商店連合組合 事務局長 上園 俊雄さん
〃 関係者 石橋 真奈美さん
西林寺 ご住職 安武 義修さん】
4. ワークショップ
5. 閉会

Program 1 開会

■ 今回は、博多区吉塚を訪れました！

■ 吉塚商店連合組合（以下、吉塚商店街）は、令和2年12月に「吉塚市場リトルアジアマーケット」という、アジアに特化した商店街としてリニューアルオープンしました！最近でもメディアにたくさん取り上げられ、市内の商店街の中でもHOTな商店街の1つです。

■ しかし、リニューアルオープンする直前までは会員店舗が激減し、最盛期の約5分の1まで落ち込んでいた状態でした…。そのような状態からどのようにしてリニューアルオープンするまでに至ったのか、お話を伺ってきました。

Program 2 吉塚商店街歩き

■ 吉塚商店街の方に案内してもらい、商店街を歩きました！



「おつかれさま～」
「今日はなんの集まりね～？」
気軽に声を掛けてくださるところに、
商店街の方の温かみを感じます。



Program 3 吉塚商店街から学ぶ!

お話をしてくださったのは、商店街のすぐ近くにある「西林寺」のご住職である安武ご住職。「吉塚市場リトルアジアマーケット構想」に大きく関わった方です。

この構想は、吉塚地域に日本語学校が3校あり、たくさんの外国人学生が暮らしているという地域の特性と、長年カンボジアやミャンマーへ支援を続けてきた安武住職と河津商店街組合長が、商店街の未来と地域への貢献を思って発案したことから始まっています。

令和2年9月に経済産業省の補助金事業に採択されてから、12月のリニューアルオープンまで、まさに全力疾走で駆け抜けました。お客さんが安全に気持ちよく過ごせるよう、照明やアーケードを改修し公共トイレを設置しました。日本人にはアジアの文化に触れてもらえるよう、外国人居住者には故郷を感じてもらえるようにアジア各国の飲食店を誘致しました。また、地域の方同士や外国人居住者との交流の場となるように多目的スペースも作りました。

「アジアに特化した商店街」という尖った構想には、反対の声も多くありました。地域や商店街への思いが強ければ強いほど当然のことです。忘れてはいけないのは、これまでの長い時間、その地域・商店街を大切に守ってきてくれた方がたくさんいるということです。何度も説明会を開催し、直接お話しにも伺うこともありました。話し合いは、時には数時間に及ぶこともありましたが、相手のお話に耳を傾け、そしてなぜこのような構想を実現させたいのか、きちんとストーリーをお話しすることで少しずつご理解をいただけるようになったそうです。



最近、メディアに多く取り上げられている吉塚商店街は、一見その奇抜さに目を奪われがちですが、構想が実現に至るまでどのような経緯や課題があったのか、実現までの課題をどのように解決していったのか等、転換期が迫っている商店街が少なくない中、他の商店街の参考になることが多々あるお話しでした。

Program 4 ワークショップ

ワークショップのなかで、吉塚商店街が商店街ならぬ『文化街』だというキーワードが出てきました。吉塚商店街が様々な文化をもつ人たちを受け入れる空間に変化しつつあるように、「商店街とはこうであるべきだ」という概念に捕らわれない柔軟性が、新しい変化を生み出すのかもしれない♪

Program 5 閉会

吉塚商店街の皆さんありがとうございました!
次回は、中央区 唐人町商店街を訪れます。
どんな会になるのでしょうか?楽しみです!

本日のポーズは
吉塚の「Y」です!



(写真撮影のときだけマスクを外しました)